

どんな境遇でも喜びを見つけよう

人の価値は We Area で決まる

今年の7月21日にトニー・ベネットが亡くなったとのニュースが流れました。ベネットはこれまでにグラミー賞20回、エミー賞2回を受賞し、ハリウッド・ウォーク・オブ・フェームにもその名が刻まれたアメリカを代表するポピュラー歌手です。ベネットの代表する曲に『思い出のサンフランシスコ』があります。この曲はサンフランシスコ市が公式に市歌に制定しています。作曲はジョージ・コウリー、作詞はダグラス・クロスで、ニューヨーク在住のアマチュアの2人が、故郷サンフランシスコを思う心を歌で表現した名曲です。

この曲に「我が心はサンフランシスコに残したまま」という一節があります。私は故郷、大阪市天王寺区上本町を思う時、何時も母校大阪市立高津中学校の校歌を口ずさみます。「誇りあり 友の眼差し ああ我が母校 高津中学校」大阪から遠く離れていても長年、広島県で社会の為に頑張る事が出来たのは、この校歌が私を励ましてくれたからです。サンフランシスコ市民が『思い出のサンフランシスコ』を誇れるように、私は上本町、鶴橋、玉造の3駅 Area を校区とする高津中学校の校歌を、郷土を愛する曲として受け止めています。

人はみな「Me（私）」からスタートします。やがて、この人たちの為にと「We」に変わります。運命共同体のような「We Area」が家族、職場、地域と広がり、最後は困っている人の為にと意識に近付いていく事が出来れば、それが人の価値だと思うのです。大阪市であっても、広島県であっても、人の為に尽くす事によって自分の運命も変えていく事になる。利他とは、他の人の為に尽くす事です。自分だけよければいいという利己の心を離れて、他人の幸せを願う利他の心を持つ、そうすれば自分の人生も豊かになると思うのです。

この世の中というのは日々流転していて、波瀾万丈です。私は自分だけの為でなく、他の人の為になる事をするのが、大阪に生まれて大阪に育ててもらった私の務めではないかと考えて来ました。正義、公正、勇気、誠意、誠実、努力など、人間として守るべき基本的な価値観を、大阪市立真田山幼稚園、真田山小学校、高津中学校で学んだ気がします。運命は「We Area」を目指し、何処であっても、その人の心がけ次第で如何様にも変えていけると思います。

令和5年9月1日 *高津(こうづ)中学校、上本町(うえほんまち)、玉造(たまつくり)



* 大阪市立高津中学校3年の担任北浦先生(右端の方)とテニス部



* 上本町交差点：現在と改築前の近鉄百貨店、大阪市電



花園保育園 (K)